



中原特別支援学校 I C T 活用広報誌
発行 I C T 教育支援部
No.19 2025.12

秋季休業中に、職員の I C T 活用能力の向上を目的とした 2 つの研修を実施しました。

「特別支援教育における I C T 活用について」

西軽井沢学園 さやか星小学校校長 青木 高光 氏を講師としてお招きし、「特別支援教育における I C T 活用について」をテーマにオンラインでご講演いただきました。



「学び手は常に正しい」

青木氏は、長野県の小学校、特別支援学校に勤務し、障害のある子供のコミュニケーション支援に関わる教材開発や I C T 活用に取り組まれてきました。N P O 法人ドロップレット・プロジェクト代表理事（コミュニケーション支援シンボル「Drops」、コミュニケーション支援アプリ「DropTap」の開発など）も務められています。研修では、特別支援教育における I C T 活用について、事前に参加者より募った質問事項も踏まえてお話しいただきました。「生活上の基本的なルールや習慣を身に付けられるようにする」、「一人一人にあった適切な課題設定をする」、「確実に達成感がもてるよう環境調整をする」など、I C T を活用する以前の教育活動を反省させられるものでした。我々は児童生徒の「分からない」「できない」があったときに、児童生徒の側に原因を見がちです。「分からない」「できない」の背景には、我々が「分かるように伝えられていない」「できるような手段を講じられていない」ということを忘れず、その手段として I C T をよりよく活用していきたいと思います。

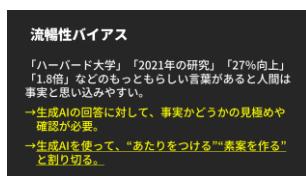
「特別支援教育における生成 A I 活用」



YouTube で公開中♪



佐賀県教育委員会から「生成 A I ガイドライン (Vol.2.0)」が公開されたことを受け、夏の研修に引き続き生成 A I について取り扱いました。



初めて生成 A I を使用する参加者もいたことから、情報化推進リーダーによる ChatGPT のアカウント作成の補助を行ったり、I C T 教育支援主任による、生成 A I についての基本的な解説を行ったりしました。演習では、例を元に各自でプロンプトの入力を行いました。特別支援教育に係る内容など専門的な内容については、生成された回答の真偽や是非を、最終的に我々自身が判断できることが不可欠であると、参加者全体で共有できました。生成 A I の活用については、校務の効率化や授業改善を目的に、活用のあり方を引き続き模索していきたいと思っています。

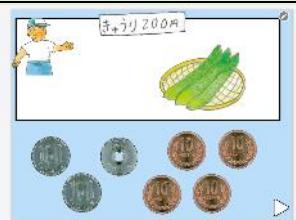
ICT活用の紹介

本校では、ICT活用について、文部科学省が示している視点を次のように整理しています。

<視点1>「教科指導の効果を高めたり、情報活用能力の育成を図ったりする」：「分かる授業」

<視点2>「障害による学習上又は生活上の困難さを改善・克服する」：「できる学習」

【小学部】知的障害者用教科書（星本）デジタル教材



【小学部】DropTap



<視点1>

- ・シンプルなデザインで、注目するものや、どう操作するのかが分かる。
- ・画像の大きさや提示数を調整することで、児童がとらえやすくなる。

<視点2>

- ・操作が簡単で、一人で進めることができる。
- ・つまむ動作が難しくても、操作して学習をすることができる。

<視点1>

- ・朝の会の内容に応じたシンボルを提示することで、今するべきことが分かる。
- ・シンボル（赤の矢印）を押すと次のボードへ移ることで、活動の区切りが分かる。

<視点2>

- ・シンボルを押すことで音声を鳴らし、司会進行ができる。
- ・自分の操作で音声が鳴ったり、友だちが応えたりすることで、達成感を得られる。

【高等部】CanvaAIでクイズ



<視点1>

- ・4択問題にすることで、学習の要点が分かる。
- ・各自でQRコードを読み込むため、情報へのアクセス方法が分かる。

<視点2>

- ・ゲーム感覚で楽しんで積極的に復習できる。
- ・緘黙や作業がゆっくりな生徒も自分のペースで進められる。
- ・書字が苦手な生徒も取り組むことができる。

※この教材はAIを用いて作成しました。プロンプトを入力してコードを生成することで、生徒に応じたデジタル教材を教師のイメージ通りに具現化できました！

お知らせ

12月26日（金）に、コミュニケーション支援アプリ「DropTap」に係る公開研修会（演習）を実施します。県内の学校には案内を発出しておりますので、ぜひお申し込みください。締め切り延長中です。

<詳細（本校Webページ内）>

<お申込み>



特別支援教育でのICT活用に係るご相談、研修依頼にも応じます

【TEL】 0942-94-3575

【Mail】 nakabarutokubetsushien@education.saga.jp

【窓口】 地域支援部 ※お問い合わせの際に「ICT活用に係る相談」とお伝えください。